

広告

フリーアナウンサー
徳永玲子さん



タレント、女優、パーソナリティ。
福岡県太宰府市出身。筑業中央高校卒業後、劇団テアトルハカタ入団。1985年KBCテレビ「モーニング・モーニング」のアシスタントとしてお茶の間の人気を集める。現在、テレビ「アサデス。」などKBCのパーソナリティとして活躍中。

「対談」白内障手術の最前線

3焦点
自然視覚レンズで
進化した
白内障治療のいま

「視覚」は人間の五感の中でも重要な働きをしています。「人生100年時代」年齢を重ねても活力ある後半生を築くためには、目の加齢対策が大切です。加齢によって引き起こされる目の代表的な病気が白内障。60歳以上から急速に増加し、70歳以上のほとんどの高齢者に症状が出ているそうです。白内障の疾患や治療法における正しい知識について、フリーアナウンサーの徳永玲子さんが、先進眼科・岡義隆先生に伺いました。

眼科医
岡義隆 先生



医療法人先進会 理事長。
日本白内障屈折矯正手術学会理事、日本眼科学会認定眼科専門医。1970年生まれ。愛知医科大学卒業。福岡大学病院眼科を経て、2002年福岡県飯塚市に岡眼科クリニック開業。2019年先進眼科東京・大阪・福岡開院。レーザー白内障手術及多焦点眼内レンズ手術を多数執刀。



加齢症状の
一つが白内障
誰にでも
発症しうる疾患

徳永 「人生100年時代」と言われます。私も年を取っても元気でアクティブに過ごしたいと思っています。ですが、40代で目がかすみ始めて、ある日、博多座で観劇していたら役者さんの顔がにじんで見えなくなったんです。その後、健康診断では毎年、視力が落ちるペースのように落ちていき、これからはどうなるのか不安です。

岡 もともと目がよかつた方は、特に加齢に伴う視力の低下が気になります。でも、眼科治療はめざましい進歩を遂げており、何も心配なさることはありません。視力の低下やにじみ、かすみはどうして起きるのでしょうか。

徳永 視力の低下やにじみ、かすみは目や角膜にたまりやすくなる、レンズの役割を担う器官が水晶体です。水晶体の厚みを調節する機能が落ちてピント合わせが難しくなった状態が老眼です。しかし、加齢に伴って起きる目の症状は老眼だけではありません。本来、透明な水晶体が加齢とともに白く濁って、見え方に異常をきたすことがあります。これが白内障です。

徳永 白内障：聞いたことばかりですが、どういう症状で、どのような人がかかるのでしょうか。
岡 「ものがぼやけて見えにくい」「かすんで見える」といった症状です。一部には糖尿病や外傷、アトピーなどに起因するケースもありますが、大半は加齢に伴うもの、程度の差はあれ60歳過ぎた方にはほぼ白内障の症状が見られます。年を取れば誰もがかかる目の病気なのです。

眼内レンズの
挿入で
完治することが
可能に

徳永 白内障と分かった場合、どのような治療法があるのでしょうか。
岡 たったそば近視の場合、メガネやコンタクトなどで視力を補う。ピントの調節機能が落ちてきたものの分、老眼鏡で補うことができます。しかし、水晶体のタンパク質が変性して濁りが生じる白内障にはそれができません。水晶体はいったん濁ると、もとの透明な状態に戻すことはできません。取り替えるしかないわけ

です。濁った水晶体を手術で取り除き、新たな人工水晶体と取り替える。外科手術による眼内レンズの挿入が、一般的な治療法です。
徳永 目の手術って、なんだか怖い気がしますが。

岡 そんなに大変ではありませんよ。施設によっては「日帰り手術が可能で、切開創（目）にメスを立てることができるのは2〜3mm程度。非常に小さな傷口で済みます。麻酔は、手術時間も一般的な15分と短く、目薬による局所麻酔で大丈夫です。手術時間も一般的には、15分と短く、目薬による局所麻酔で大丈夫です。手術の傷口が2〜3mm程度で済むのもこのためです。

徳永 小さな眼内レンズが大きな威力を発揮してくれるんですね。
岡 そうですね。それに眼内レンズは白内障を治療するだけに留まりません。多焦点レンズを使用することで、老眼になる前の見え方に近づけることも可能です。本来、水晶体は近くを見る時には厚くなり、遠くを見る時には薄くなってピント（焦点）を合わせるという調節機能を持っています。しかし、人工の眼内レンズには、そのような調節機能がありません。そのため、あらかじめ設定した距離に焦点が合うように設計されている。焦点の数によって分類されているんです。

徳永 眼内レンズにはいくつかの種類があるんですね。それぞれの特徴、見え方の違いを教えてください。
岡 大きくは、「単焦点レンズ」と「多焦点レンズ」に分けられます。「単焦点レンズ」は「遠く」「中間」「近く」のいずれか1カ所のみ焦点が合うんです。「多焦点レンズ」には、「遠く」と「近く」「遠く」と「中間」など2カ所所焦点を「2焦点レンズ」と「遠く」「中間」「近く」の3カ所を焦点が合う「3焦点レンズ」があります。「単焦点レンズ」は、一つの距離にピントが合うように設計されています。非常にクリアに見えます。ですが、その他の距離ではピントが合わないため見るものの位置に合わせてメガネが必要になります。遠くの景色はきれいに見えるけれど手元はぼやけてしまう。白内障はよくなって、老眼鏡の併用が欠かせません。

徳永 「2焦点レンズ」は、2点の距離にピントを合わせるため、例えば遠く

眼内レンズは
3種類
それぞれの
特性を考えて

徳永 たった一度、短時間の日帰り手術で済むならば安心です。眼内レンズも、やはり小さなものなのでしょね。
岡 眼内レンズは直径6mm程度です。柔らかいアクリル系の素材なので、折り畳んで挿入することができ

ます。手術の傷口が2〜3mm程度で済むのもこのためです。
徳永 小さな眼内レンズが大きな威力を発揮してくれるんですね。
岡 そうですね。それに眼内レンズは白内障を治療するだけに留まりません。多焦点レンズを使用することで、老眼になる前の見え方に近づけることも可能です。本来、水晶体は近くを見る時には厚くなり、遠くを見る時には薄くなってピント（焦点）を合わせるという調節機能を持っています。しかし、人工の眼内レンズには、そのような調節機能がありません。そのため、あらかじめ設定した距離に焦点が合うように設計されている。焦点の数によって分類されているんです。

徳永 眼内レンズにはいくつかの種類があるんですね。それぞれの特徴、見え方の違いを教えてください。
岡 大きくは、「単焦点レンズ」と「多焦点レンズ」に分けられます。「単焦点レンズ」は「遠く」「中間」「近く」のいずれか1カ所のみ焦点が合うんです。「多焦点レンズ」には、「遠く」と「近く」「遠く」と「中間」など2カ所所焦点を「2焦点レンズ」と「遠く」「中間」「近く」の3カ所を焦点が合う「3焦点レンズ」があります。「単焦点レンズ」は、一つの距離にピントが合うように設計されています。非常にクリアに見えます。ですが、その他の距離ではピントが合わないため見るものの位置に合わせてメガネが必要になります。遠くの景色はきれいに見えるけれど手元はぼやけてしまう。白内障はよくなって、老眼鏡の併用が欠かせません。

徳永 「2焦点レンズ」は、2点の距離にピントを合わせるため、例えば遠く

と近くに焦点が合うレンズを入れた場合、中間が見えにくいということになります。たとえば美術館に行ったりとき、通常、壁面から1〜2メートル離れたところに立つて鑑賞しますよね。「遠く」と近くに焦点が合う2焦点レンズで、その位置からは見えにくく、グッと近づいて鑑賞することになります。

また、光をカ所に振り分けますので、見え方のシャープさが少し劣ります。暗い場所やライトを見ると、光の輪やまぶしさを感じることもあります。
「3焦点レンズ」は、「遠く、中間、近く」と3点にピントが合うので、遠くの様子はもちろん、手元の文字も、その中間距離を見るときにも見えます。

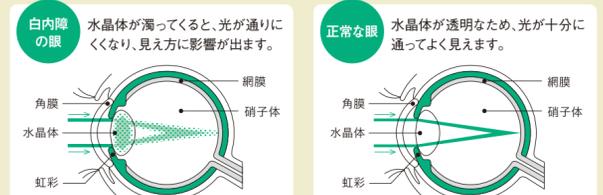
「3焦点レンズ」は、「遠く、中間、近く」と3点にピントが合うので、遠くの様子はもちろん、手元の文字も、その中間距離を見るときにも見えます。

徳永 手術を受けられる年代は、どのくらいでしょうか。
岡 以前は70歳過ぎの方が多かったのですが、今は65歳以降、あるいは60歳過ぎの方も増えるなど確実に早くなっています。基本的に白内障の手術は避けては通れません。いずれしないといけない手術を、いつどの段階でするかは判断になります。自分の見え方、一生の見え方をどうするか。専門家の意見を参考にできる患者さんが自分で決めることができる時代です。

徳永 いろいろな選択肢があるだけに、まずは眼科医に相談して、じっくりと考え、判断することですね。
岡 ぜひ、そうしていただきたいものです。ただし2焦点や3焦点の眼内レンズについては、日本眼科学会からの指針もあり、手術に対応できるのは施設設備、人員、経験など一定の基準に適合した医療機関に限られています。また、「3焦点自然視覚レンズ」のレンズや検査などの費用は現在のところ、自己負担となっています。皆さんそれぞれ、ライフスタイルや安全性、経済性も含め総合的に見て、提案をお聞きになられた上で、最後は「自身で選ばれる」とよいと思います。

徳永 いつまでも若々しく、健康な目で楽しい毎日を送りたいと思います。本日はありがとうございました。
徳永 ありがとうございます。白内障は、年齢とともに発症しやすくなる病気です。早期発見・早期治療が大切です。

■ 図1 白内障の水晶体の変化



■ 図2 レンズの種類による見え方の違い(シミュレーション)



単焦点レンズ 2焦点レンズ 3焦点自然視覚レンズ
見る対象との距離によって眼鏡が必要 老眼になる前の見え方に近い
ピントを合わせた距離のもの、2つの焦点距離にあるもの、3つの焦点距離にあるもの、非常にクリアに見える、が、同時にクリアに見える、が、同時にクリアに見える
※写真はシミュレーションイメージです。術後の見え方には個人差があります。※2焦点レンズや3焦点レンズは、2つ、もしくは3つの焦点距離にあるものを同時にクリアに見られますが、単焦点レンズほどクリアな視界が得られないことがあります。また、時に、強い光をまぶしく感じることがあります。※焦点が合っているところでも、場合によっては眼鏡が必要ながあります。



わかる! 白内障の情報はこちら

わかる! 白内障 検索



きける! 日本アルコン きける! 白内障
(白内障に関する問い合わせ)

0120-000-000

Alcon